



称法寺の清掃始まる



8月30日一日で集めた瓦礫

お盆前から取りかかり、延べ1500人以上のボランティアが参加して行われていた門脇の西光寺の墓地清掃が終わり、8月29日から同じ門脇にある称法寺の墓地の清掃に取りかかっています。石巻災対連と協力し、31日までに全国から集まった青年ボランティアが中心となり、62人が参加。汗ばむ気温の中でマスクと皮手袋、長靴の姿で黙々と瓦礫を撤去作業を行っています。

NEWS
2011/9/1 73号

日本共産党 震災・救援対策センター
石巻市南中里4-7-17 TEL 22-6335 FAX 22-6892

支援物資お届け隊 各地へ

8月29日

民青同盟を中心とした全国青年ボランティア17人が雄勝の立浜と大須にある仮設住宅に救援物資をお届けしました。



雄勝は市街地から離れていることもあり、あまり支援の手が行き届いていない地域で、「来てくれただけで嬉しい」と歓迎されました。

小学校の敷地に建てられている大須の仮設では、生徒が運動会の練習をしていて、ボランティアの青年も一緒に走り、交流しました。



8月30日

三浦市議を先頭に全国青年ボランティアと東京、神奈川の日本共産党後援会15人が午前中は羽黒町、午後は水明北の仮設住宅で配給を行いました。



「全てが流されてしまったので（物資は）何でも嬉しい」「買い物に行くのが大変だからありがたい」との声が聞きました。

参加していた東京都品川区の飯沼区議は衣料品の配布を担当し、「この服はどう？」と服をお勧めして、来た方々と楽しく交流しました。



8月31日

東京の民青を中心とした青年ボランティアワゴ

ンの38人がトゥモロビジネスタウンの仮設住宅で物資を配りました。



大きな仮設住宅ということもあり、100人以上が物資の受け取りに訪れました。

被災された親子が本のコーナーで「（被災前に）この本持っていたね」と嬉しそうに持ち帰る姿がありました。



また、品物を選んでいく間に水沢市議が子どもを預かりながらハンドマイクを握る場面もありました。



物資お届けの際にアンケートを行っています。どの仮設住宅の住民も、冬へ向けての対策に不安を訴えています。仮設住宅の水道や壁の防寒対策を急ぐ必要があります。

